

地区広報

平成27年3月

No. 65号

水いざわ

題字：水沢小学校6年 須藤 那悠 さん



桜駅行バスの社会実験実施

平成26年11月20日～12月17日の28日間

高校生とその保護者には好評！

平成27年度には新規路線実現のための予算を要求

水沢地区の人口 総数…3,311人 男…1,606人 女…1,705人 世帯数…1,155世帯 (27.2.1現在)

町民運動会

町民運動会は、秋晴れの中、10月19日、たくさんの方々のご参加頂き、無事に開催することができました。本当にありがとうございました。今回は新しい風を取り入れ、より楽しく喜んでいただけるように、新競技として「なかよしルー」「担架でゴー」を行いました。いかがでしょうか。

来年度も、たくさんの方々喜んでいただける町民運動会を目指して取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

運動会実行委員長 清水 裕巳

2年分の思いがこもった運動会でした。当日は晴天にも恵まれ、事故もなく、大成功で終えることができました。陰で支えてくださった役員並びに様々な形で応援していただいた皆様に感謝申し上げます。

町民運動会は多くの住民が一同に集う数少ない行事であります。今後もみなさんが水沢の行事で一番楽しみにしてもらえるように、実行委員とともに運営、企画をしていきたいと思っております。

運動会運営委員 森 哲也



文化祭

前日の雨の中、当日の朝早くからの準備、そして本番。スタッフの皆様、本当に頑張りました。お疲れ様でした。手際よく、また臨機応変に動けたことにより、準備から片づけまでスムーズにできました。

内容は例年通りより、プラス何か新しいことができればもっと盛大になるのではないかと思います。

長年続いている伝統ある「水沢地区文化祭」をこれからも大事にしていきたいと思います。

文化祭実行委員 中村 敏恵



幸いにも好天に恵まれ、大過なくもみじ祭りが行われたこと、皆様には厚くお礼申し上げます。今年には特に駐車場を整備し、また近隣地区駐車へのご配慮をたくさんの方々からいただき感謝の限りでありました。

さらに催事に関しては、今までのウォーク大会を「史跡めぐり歩こう会」として、地区の歴史の再発見と今後の保存伝承につながることを願い企画しました。地区のボランティアの皆さんのご協力をいただき、とても有意義な内容になりました。

もみじも見ごろで期間中の来場者も二万人を超えたようです。

水沢発信力すごいやん！！今後もみんなで頑張ろう

もみじ祭り実行委員長 鎌田 久和

もみじ祭り



郷土が誇る芸能大会

水沢町から「宮妻太鼓絆」のみなさんが披露してくれました。とても堂々としていて感動しました。演奏が終わったあと、大きな拍手と「すごいな～」という声が聞こえてきました。

現在メンバー募集中です。



バス社会実験の結果報告

バス停	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		計
	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	
1 宮妻口			1											1	1
2 林					2								1		3
3 少年自然の家口															
4 薬師堂前	1		1		1						2				5
5 山中製茶機械前	1				1										2
6 中谷西			2		2										4
7 玉鷲園前			6												6
8 四ッ谷町												2			2
9 乾谷公会所															
10 桜町西中央公会所						1		1							2
11 桜中学校北															
12 桜地区市民センター															
13 四日市西高北				10		8		2		4					14
14 近鉄桜駅		2			6		9		3		4		1		25
計	2	2	10	10	6	6	9	9	3	3	6	6	1	1	37

上り1便平均5.3人

バス停	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		計
	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	
14 近鉄桜駅	2		29		1		3		1		2		3		41
13 四日市西高北		2		29			1		1			1			2
12 桜地区市民センター															
11 桜中学校北															
10 桜町西中央公会所														1	1
9 乾谷公会所															
8 四ッ谷町							1								1
7 玉鷲園前															
6 中谷西							1		1						2
5 山中製茶機械前															0
4 薬師堂前					1		2				1		2		6
3 少年自然の家口															
2 林							2								2
1 宮妻口												1			1
計	2	2	29	29	1	1	5	5	2	2	2	2	3	3	44

下り1便平均6.3人

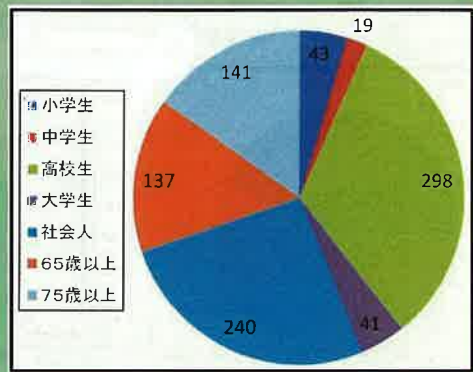
赤字は高校生、青地は中学生、緑字は小学生

総計 81人

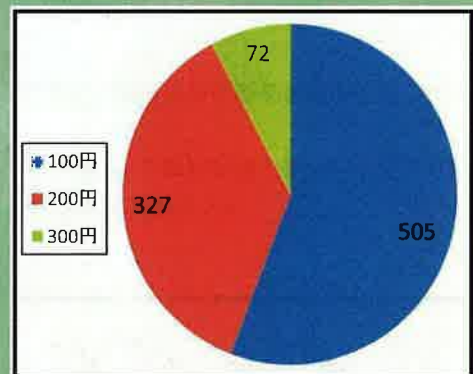
総数の1便平均5.8人

みなさんは宮妻口から近鉄桜駅間の社会実験バスに乗りましたか。11月20日から12月17日まで土日も含め28日間に1日7往復で合計196往復の392便で2,002人の乗客を乗せて走りました。実験とすることで、運賃は無料でしたので、桜駅から四日市西高の生徒さんにもたくさん乗っていただきました。乗降調査の結果がまとまりましたので、一部をお知らせします。

乗客は1便平均5人程度で、乗客の世代別割合は下のグラフの通りです。高校生だけではなく、社会人や高齢者もよく利用しています。早朝から夜まで、土日も運行し、もみじ祭りの期間と重なったことも、影響しているようです。



乗車目的は通勤、買い物、通院やもみじ祭り等地区外からの利用もあるようです。



また、本格運行の際に希望する運賃は高校生は100円が多く、社会人や高齢者は200円や300円も許容していただけるようです。また、乗車距離が長くなれば、ある程度の負担は必要と考えていただける傾向があります。

さて、本格運用を待ち望む声を各方面からいただいています。しかし、課題は山積です。運営主体や経費負担をどうするのかを考えると、簡単ではありません。乗客、地域、行政がそれぞれの役割に応じた負担をする必要があります。市議会2月議会で、平成27年度には新規路線実現のための予算が審議されています。行政も人口減少や少子高齢化への対応の一つとして、公共交通への取り組みを強化しつつ有り、水沢地区でも地域を挙げて取り組むべき重要課題だと思います。是非、桜駅行きバスの本格運行を実現すべく、みんなで取り組みましょう。



ご寄付ありがとうございます

ありがとうございました

水沢地区社会教育福祉推進協議会では、地区の方々に寄せられました寄付金を、社会を明るくする運動、町民運動会、地区文化祭、青少年の健全育成事業や地区の環境づくりなどに活用させていただきます。今後とも「生活改善運動」にご協力いただきますようお願いいたします。平成二十六年三月以降にご寄付いただきましたのは、次の方々です。

- 伊藤 たづ子様 (宮妻町)
- 鈴木 幸成様 (西條町)
- 辻 信之様 (三本松町)
- 伊藤 聡 様 (東町)
- 清永 千恵子様 (北谷町)



編集後記

今年度の地区広報すいざわはいかがでしたか。行事や出来事、実施事項等がたくさんありましたので、編集や印刷方法を変えて費用を抑え、一回出しました。ご意見をお寄せ下さい。

広報委員一同